

平成22年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール優秀賞作品



愛川町立中津小学校 1年
田村 凜



海老名市立杉本小学校 2年
長嶋 桜子



寒川町立一之宮小学校 2年
増田 太一



海老名市立杉本小学校 4年
佐藤 みのり



厚木市立荻野小学校 5年
加藤 瑳恵



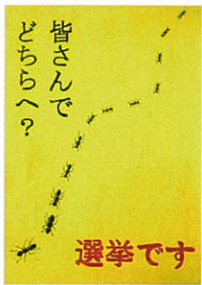
秦野市立大根小学校 5年
樺島 宏典



伊勢原市立桜台小学校 6年
菅澤 奈菜



秦野市立大根小学校 6年
住友 涼風



箱根町立仙石原小学校 6年
瀧口 良基



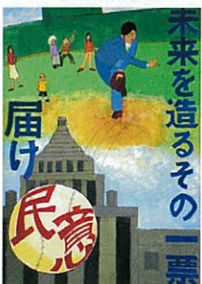
海老名市立有鹿小学校 6年
中村 友里恵



厚木市立荻野小学校 6年
吉田 汐里



伊勢原市立伊勢原中学校 1年
瀬尾 麗



相模原市立相模台中学校 2年
木村 かのう



伊勢原市立成瀬中学校 2年
内藤 美香子



伊勢原市立伊勢原中学校 2年
村越 大晃



伊勢原市立伊勢原中学校 3年
駒田 六花



横浜市立緑が丘中学校 3年
田村 恭也



厚木市立林中学校 3年
増山 達也



神奈川県立神奈川工業高等学校 2年
竹内 彩

神奈川県
選挙管理委員会

あらまし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童・生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、しかも力作ぞろいでした。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、213校から、2,469点の応募がありました。

学校	18	19	20	21	22
小学校	1,383	1,619	1,454	1,576	1,713
中学校	1,019	965	972	928	747
高等学校	12	6	13	43	9
合計	2,414	2,590	2,439	2,547	2,469

審査結果

平成22年9月29日に行われた県の審査会において、小学生11名、中学生7名、高校生1名の計19名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生29名、中学生19名、高校生3名の作品が佳作となりました。

審査員

甲斐 秀幸（神奈川県教育局教育指導部高校教育企画課副主幹兼指導主事）

忽滑谷 章（財団法人神奈川県産業振興センターデザイン専門相談員）

三浦 潤子（神奈川県明るい選挙推進協議会監事）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長

審査講評

審査員代表 忽滑谷 章

以前、栃木の馬頭広重美術館で学芸員の方から伺った話です。浮世絵師の中で、歌川広重（うたがわひろしげ 1797～1858）ほど、写生を重視した絵師はいないそうです。自分の目で見られない場所は、旅人に聞き、挿絵や風景版画など参考にして、ありのままの姿を大切にしました。写生ができて、色やかたちを整理・工夫し、自分しか描けない「広重の世界」をつくったといえます。当時、風景版画は美人画や役者絵ほど人気はなかったのですが、「江戸百景」、「東海道五拾三次」、「木曾街道」などで、後に葛飾北斎をこえる人気をえました。そこは、幅のある流れの急な河だったとか、高い崖があったとか、手にはいる限られた話をもとに、広重が頭に描き工夫した画に、私たちはいまでも広重の「心」を感じます。

いま、インターネットや新聞など、多くの情報があり、必要なことをすぐ知ることができます。コンピュータは人が手で出来ないことをやってくれる便利な道具でもあります。一方で、人が見て感じて、頭で考え、自由に手で描く手法は、何千年も昔から変わっていません。心に感じたままの感動を描くことができれば、その考えを深く広くいつまでも伝えることができます。

小さなお友達であっても、高学年のお友達であっても思い描くこと、考えることは自由にできます。たとえ、絵の具やクレヨンを使う技術が、あまりうまくなくても、手で直接、描いたものは自分の気持ちや考えを、素直にあらわすことができます。だから、みんなで同じテーマ「明るい選挙」として、コンクールができます。今年も、みなさんが努力した素晴らしい作品がたくさん集まりました。特に入選70点の中から最終の優秀賞を選ぶのは大変でした。「みんなせんきょにいこう」小2は、学校の投票所に行った時の情景を建物と共に、自分なりに描いて、新鮮でした。中央審査に入選した2点、「みなさんで、どちらへ」小6・瀧口君のは意表をついた表現で黒い「あり」と黄色いバックがよかった。もう1点の、「未来を造る、その一票、届け民意」の中2・木村君のはボールの中の民意の文字を議事堂の前に投げた構成がよかった。「日本を変える、あなたの一票」中2は擬人化した木と葉が2羽の鳥になり、やわらかい色彩でうまくまとめています。「この一票が日本を動かす」中3は無数の投票用紙で手のカタチをつくり、日本をつかもうとしているアイデアが面白い。「一票の力」中3は短いコピーとシンプルな力強い構成がよかった。また、「招福一票、明るい未来に」高2は、「招き猫」を座布団に座らせ、歌舞伎調の色彩でまとめた心憎い作品です。以上、主なものですが、他にも注目された作品は多々ありました。今年も、中学生を中心にがんばってくれました。来年も、さらに新鮮な作品を期待しています。

注・葛飾北斎（かつしかほくさい1760～1849）=広重より37歳年上、74歳で完成した風景版画の代表作「富嶽三十六景」など。